

事務事業チェックシート

事務事業No 289 事業名 保育所整備事業（私立）（保育所の増改築・大規模修繕等）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
事項		私立保育所整備事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市公立保育所民営化等整備計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	宮崎 久	435-1329
関連課	保育こども園課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	保育所、学童待機児童をゼロに			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	社会福祉法人等が運営する保育所において、創設・待機児童の解消・老朽化の改善等を目的とした施設整備に要する費用の一部を助成することにより、保育環境の整備を図る。	社会福祉法人等が行う施設整備に対し、補助金を交付する。 ・補助金交付の流れ 法人から交付申請→市の交付決定→法人から完成検査請求→市完成検査・検査証の発行→法人からの実績報告→市の確定通知→法人から交付請求→市からの補助金交付 ・補助の条件 実施主体：社会福祉法人、学校法人、公益財団法人等 施設整備：新規創設、待機児童解消や老朽化の改善を目的とした建替え及び改修				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		私立保育所の施設整備に対する補助（有功保育園・紀之川保育園）	私立保育所の施設整備に対する補助（ふたば保育園・まこと鳴滝保育園・さかえ保育園）	私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助	私立保育所の施設整備に対する補助

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	357,281	349,445	495,725	365,503	1,135,826		495,725		495,725		
	伸び率 (%)	-	-	38.7%		129.1%		-56.4%		0.0%		
	人件費	常勤職員	3,642	20,412	20,412	21,018	21,018		21,018		21,018	
		非常勤職員		5,017	5,017	4,960	4,960		4,960		4,960	
		小計	3,642	25,429	25,429	25,978	25,978		25,978		25,978	
	国庫支出金					923,073						
	県支出金	238,186	232,962	432,743	243,668			432,743		432,743		
	市債	89,700	116,300	58,200	94,600	169,700		58,200		58,200		
	その他											
	一般財源（税等）	29,395	183	4,782	27,235	43,053		4,782		4,782		
所要人数	常勤職員	0.49	2.69	2.69	2.91	2.91		2.91		2.91		
	非常勤職員		2.38	2.38	2.52	2.52		2.52		2.52		
主な予算内訳		私立保育所整備事業費補助金 1,135,826千円										

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度					
活動指標	補助申請施設数	年度目標値	2	3	5	3	3		
		実績値	2	3					
	単位 園	全体目標値			100.0%	100.0%			
		全体目標達成度							
成果指標	整備完了施設数	年度目標値	2	3	5	3	3		
		実績値	0	2					
	単位 園	全体目標値			0.0%	66.7%			
		全体目標達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>老朽化した施設の建替え・改修等及び認定こども園への移行のための施設整備を自己資金のみで実施することが困難な保育所、認定こども園等が多いため、当該補助金を活用し保育環境の改善を図る。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>市内において待機児童が発生しており、保育施設の需要が高まっている。 待機児童の解消を含む子育てを支援するため、保育所・認定こども園及び認定こども園に移行する幼稚園を対象に加え、施設整備を実施していく。</p>